

平成22年度

相模原市立博物館 年報



相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

平成23年4月1日

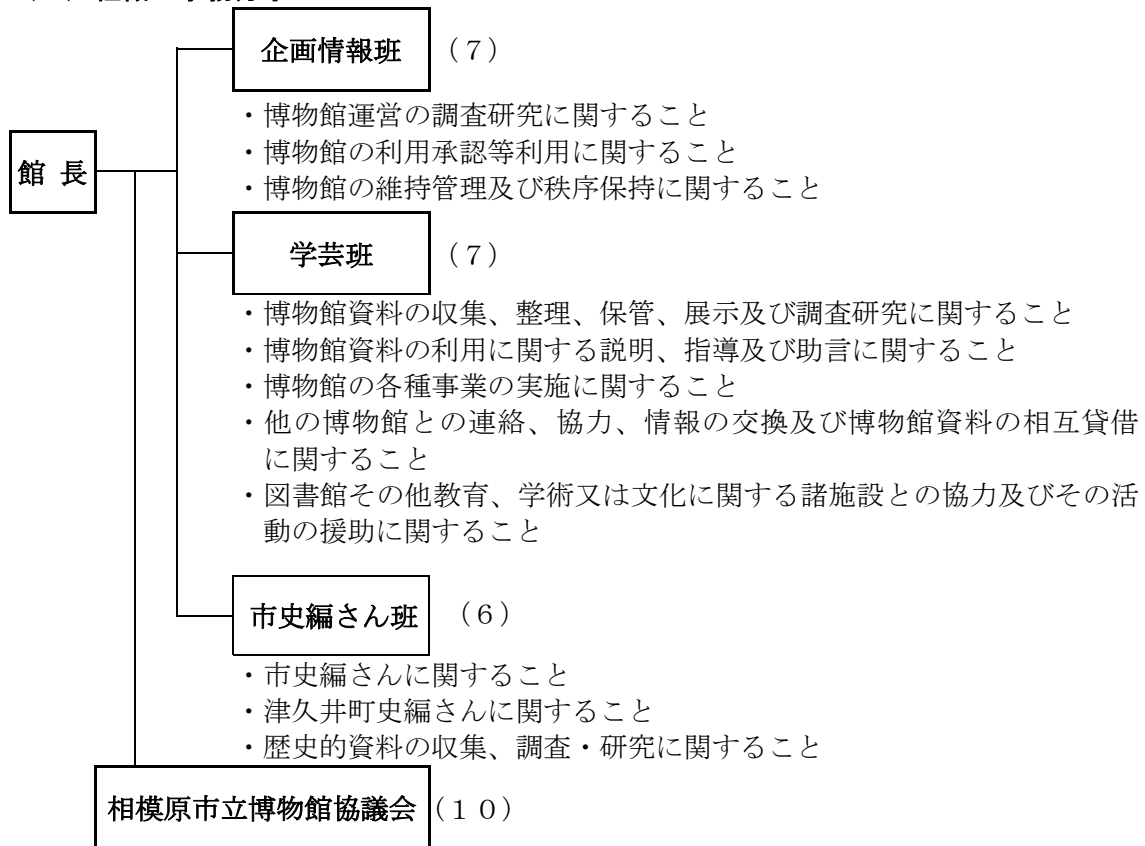
目 次

I	管理運営	1
1	組織及び職員	(1) 組織と事務分掌 (2) 職員
2	博物館協議会	(1) 趣旨 (2) 委員構成 (3) 活動状況
3	施設	(1) 施設概要 (2) 施設管理
4	予算	
II	教育普及	4
1	入館者数	(1) 22年度計 (2) 総計 (3) 詳細
2	特別展示室展示・学習資料展等	
3	講座・講演会・教室・観望会等の事業	
4	プラネタリウム・全天周映画	
5	その他	(1) 情報サービスコーナー
6	学校と博物館の連携を進める研究会	
7	広報・出版等	
8	博物館学芸員実習	
9	学習利用	
10	博物館職員の講師依頼等	
11	市民との協働	
III	資料管理	22
1	博物館収蔵資料点数	
2	資料・収集・整理	
3	購入資料	
4	有害生物管理の実施	(1) 受入れ資料のくん蒸 (2) 有害生物調査
5	資料の特別利用	
IV	調査研究	27
V	展示改修	28
1	天文展示室整備事業	
VI	市史・町史編さん	28
1	相模原市史	
2	津久井町史	

I 管理運営

1 組織及び職員

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員

	(平成23年3月31日現在)	(平成23年4月1日現在)
館長	井上 明夫	井上 明夫
企画情報班	総括副主幹(企画情報班担当) 木村 知之 指導主事 上原 徹也 主査 天野 光洋 主査 岡本 正明 主任 高取 英徳 主任 金井 理代 主任(再任用) 横山 正	企画情報班 天野 光洋 岡本 正明 高取 英徳 金井 理代 横山 正
学芸班	担当課長(学芸班担当)(学芸員) 杉本 芳秋(天文) 副主幹(学芸員) 土井 永好 主査 有本 雅之(天文) 主査(学芸員) 加藤 隆志(民俗)	学芸班 木村 知之 上原 徹也 土井 永好 有本 雅之

主査(学芸員)	秋山 幸也 (生物)	加藤 隆志
主査(学芸員)	河尻 清和 (地質)	秋山 幸也
主任(学芸員)	河本 雅人 (考古)	河尻 清和
		河本 雅人
		井上 泰
		杉本 芳秋

市史編さん班	担当課長(市史編さん班担当)	三樹 聖一	三樹 聖一
	副主幹	佐藤 洋二	佐藤 洋二
	副主幹(町史担当)	守屋 博文	守屋 博文
	主査(町史担当)	井上 泰	草薙 由美
	主任(学芸員)	塩谷 裕久	塩谷 裕久
	主任(町史担当)	加藤 康雄	加藤 康雄
	非常勤特別職	学習指導員2名	学習指導員2名
		市史編さん特別顧問1名	市史編さん特別顧問1名
		市史編さん調査員2名	市史編さん調査員2名

2 博物館協議会

(1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成 任期2年

平成21年11月20日～平成23年11月19日

氏 名	備 考	選出区分
加 瀬 加寿恵	小学校教諭	学校教育
坂 口 滋 皓	高等学校教諭 会長	
川 井 義 則	市文化財研究協議会会長	社会教育
田 中 美奈子	市立小中学校 P T A 連絡協議会 副会長	
格 地 悦 子	市女性学習グループ連絡協議会広報 (～22年8月)	家庭教育
井 上 博 美	市女性学習グループ連絡協議会 (22年8月～)	
小 瀬 康 行	東京家政学院大学教授	学識経験者
青 木 雄 司	県立宮ヶ瀬ビジターセンター館長	
矢 野 創	宇宙科学研究本部固体惑星研究系助教	
永 田 基 浩	市民公募	
白 井 暁 彦		

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	10月28日(木)	平成21年度事業結果及び22年度主な事業について 活動状況に関する評価計画の策定について

2	3月10日(木)	活動状況に関する評価計画の策定について 定数不足のため流会 そのため、評価計画を含め意見聴取を行う
---	----------	---

3 施設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9,999.48㎡
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋造
ウ 規模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5,081.03㎡
オ 延床面積	9,510.24㎡

	用 途 ・ 面 積	主 な 室	内 容
展 示・教 育	展示スペース (1,907㎡)	自然・歴史展示室 (1,170㎡)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分りやすい展示がされている。
		天文展示室 (127㎡)	「宇宙の中のわたしたち」をテーマに、地球・太陽・恒星について理解を深められるよう展示がされている。
		特別展示室 (487㎡)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453㎡)	実習実験室 (90㎡)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報サービスコーナー (127㎡)	郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室 (237㎡)	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
保 管・研 究	研究スペース (1,038㎡)	市民研究室 (294㎡)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74㎡)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
		整理作業室ほか	博物館資料の整理・加工・修理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
	収蔵スペース (1,570㎡)	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を将来にわたって、安全・確実に保存するための収蔵庫が設置されている。
管 理・共 用	管理・共用 スペース (3,894㎡)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	休憩コーナーや軽食のとれる喫茶室、博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

(2) 施設管理

施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。
消防訓練 平成23年1月26日

4 予 算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	22年度予算額	23年度予算額	財源内訳	22年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	300	95	一般財源	300
						特定財源	0
50	20	45	博物館費	238,449	235,670	一般財源	221,265
						特定財源	17,184
計				238,749	235,765		

生涯学習施設維持補修費

節		説明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
1 1 需用費	300	経費内訳	22年度	23年度
		1 施設修繕料	300	95
計	300	計	300	95

博物館費

節		説明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
0 1 報酬	8,001	経費内訳	22年度	23年度
0 4 共済費	633	1 博物館協議会経費	260	406
0 7 賃金	8,002	2 施設運営費	40,002	38,668
0 8 報償費	15,986	(1) 資料収集保存経費	5,069	5,020
0 9 旅費	1,006	(2) 資料調査研究経費	990	1,790
1 1 需用費	70,183	(3) 展示・教育普及事業経費	3,116	4,612
1 2 役務費	2,085	(4) プラネタリウム事業経費	30,425	26,864
1 3 委託料	121,175	(5) その他運営費	402	382
1 4 使用料及び賃借料	10,873	3 施設維持管理費	153,947	152,618
1 8 備品購入費	340	4 市史編さん事業	43,228	42,220
1 9 負担金、補助及び交付金	125	(1) 相模原市史編さん事業	32,799	32,955
2 7 公課費	40	(2) 津久井町史編さん事業	10,429	9,265
		5 一般事務費	1,012	1,758
計	238,449	計	238,449	235,670
合計	238,749	合計	238,749	235,765

Ⅱ 教育普及

1 入館者数

(1) 22年度計 **182,880人**
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(2) 総 計 **1,932,395人**
(平成7年11月20日～平成23年3月31日)

平成22年度相模原市立博物館年報

(3) 詳細

月	入館者数	プラネタリウム総数	一般投影	全天周映画	学習投影	特別展	星空観望会	講演会 講座等	観覧料	開館 日数	1日 平均
22年4月	6,773	2,432	963	1,379	90	1,284	86	69	¥850,000	25	271
5月	9,723	4,258	2,417	1,414	427	5,766	133	169	¥1,445,790	26	374
6月	17,166	9,849	3,380	4,940	1,529	5,986	111	177	¥3,581,140	26	660
7月	54,536	15,245	4,636	9,918	691	41,449	231	1,594	¥5,550,120	27	2,020
8月	30,525	16,538	3,976	12,472	90	17,342	308	820	¥5,706,630	27	1,131
9月	10,793	5,479	2,063	3,178	238	2,881	144	224	¥2,027,350	25	432
10月	10,392	4,040	1,184	1,940	916	6,120	206	315	¥1,281,020	27	385
11月	10,771	5,453	888	1,351	3,214	4,307	196	699	¥815,830	23	468
12月	7,630	3,738	736	1,223	1,779	2,155	162	771	¥756,740	22	347
23年1月	9,538	4,834	908	2,832	1,094	5,633	162	636	¥1,326,920	24	397
2月	8,554	4,370	742	1,949	1,679	5,101	70	717	¥934,390	24	356
3月	6,479	2,755	564	1,472	719	1,708	52	58	¥769,950	25	259
22年度計	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249	¥25,095,880	301	608

※(参考) 開館からの総計

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	¥11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	¥18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	¥12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	¥12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	¥15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	¥11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	¥14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	¥12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	¥13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	¥11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725	¥12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896	¥14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245	¥13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517	¥13,831,800	303	423
21年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681	¥13,679,160	303	449
22年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249	¥25,095,880	301	608
総計	1,932,395	829,589	306,705	357,165	165,719	767,146	16,443	91,863	¥226,679,660	4,628	418

2 特別展示室展示・学習資料展等

平成22年度は、特別展示室を二つに分け、津久井地域を中心とした通年展示を行うコーナーと企画展示等を行うコーナーを設け、展示を行った

(1) 通年展示「津久井の自然と文化」

ア 内 容 特別展示室の一部を使い津久井地域を中心とした展示を通年をとおして行う。また、相模原市史および津久井町史の状況や成果、「さがみはらどこでも博物館」の成果である「発見のこみち 勝坂」を紹介するとともに、各種調査会の調査成果なども併せて展示するコーナーを設けた。

イ 期 間 4月29日(木)～通年(23年5月8日)

JAXA特別公開に伴い7月26日(月)～8月3日(火)を除く

ウ 観覧料 無料

エ 広 報

オ 構 成 ①相模原市史・津久井町史紹介コーナー

②さがみはらどこでも博物館「発見のこみち勝坂」紹介コーナー

③市民活動紹介コーナー

④津久井地域の自然

(地質) 関東山地と丹沢山地の地質

(生物) 津久井地域の生物

⑤津久井地域の歴史と文化

(考古) 津久井の原始・古代遺跡

(歴史) 地図にみる津久井の姿

(民俗) 津久井の祭礼と行事

ミニ展示：一か月程度の期間を区切って、各コーナーでは扱えない資料を紹介する。

鳥屋村絵図・新戸村絵図

大日野原遺跡の発掘調査

小正月の作り物

相模湖の観光

(2) 夏季企画展「こんなに自然、あったんだ！～相模原市史自然編から～」

ア 内 容 平成21年に刊行された『相模原市史自然編』の調査活動の中で撮影された数多くの写真を中心に、野外調査のようすや採集された資料などを展示し、市史刊行事業の意義や成果を紹介した。

イ 期 間 7月3日(土)～8月31日(火)

JAXA特別公開に伴い7月26日(月)～8月3日(火)を除く

ウ 観覧料 無料

エ 広 報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ

オ 観覧者 28,791人

カ 関連事業

学芸員による展示解説 7月25日・8月7日・8月21日

(3) JAXA相模原キャンパス特別公開関連事業「はやぶさ」カプセル特別展示

(特別展示室全体を使い展示)

ア 内 容 JAXA(宇宙航空研究開発機構)相模原キャンパスの特別公開に併せ6月13日に地球に帰還した小惑星探査機はやぶさのカプセル等を特別公開した。

イ 期 間 7月30日(金)・31日(土)

ウ 観覧料 無料

エ 広 報 広報およびホームページ

オ 観覧者 30,000人

カ 関連事業

①宇宙科学セミナー 参加者 800人

②ミニミニ宇宙学校 参加者 500人

③全天周映画HAYABUSA上映 入場者1,677人

全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の上映

(4) 博物館実習生制作展

- ア 内 容 博物館実習における実務実習の一環として展示制作を行い、実習生が企画・資料研究・パネル制作・列品までを体験した。
- イ 期 間 9月17日(金)～10月31日(日)
- ウ 観覧料 無料
- エ 広 報 ホームページ
- オ 観覧者 9,001人

(5) 城山エコミュージアム写真展「緑区しろやま・少し昔の写真展」

- ア 内 容 相模原市城山地区のまちの歴史を記録として残すとともに、今までをふり振り返り、これからのまちづくりを考えるため、昔の行事や出来事・風習・街並みなどの写真を集め、写真展を開催した。
- イ 期 間 11月13日(土)～11月30日(火)
- ウ 観覧料 無料
- エ 広 報 ホームページ他
- オ 観覧者 4,307人
- カ 関連事業 参加者総数 73人
11月23日(火)講演会「古い写真が語るしろやま地区の昔と今」参加者 73人
講師 加藤正彦氏

(6) 学習資料展「大地さんと未来さんが見つける ちょっと昔のくらしⅦ ～お父さんとお母さんが子どもだったころ～」

- ア 内 容 収蔵されている資料を中心に、学校の授業で活用できるような道具やモノを展示し、昔のくらしについて紹介した。
- イ 期 間 12月11日(土)～平成23年2月27日(日)
- ウ 観覧料 無料
- エ 広 報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
- オ 観覧者 12,889人
- カ 関連事業 参加者総数: 1,471人
- | | | |
|-----------|----------------------|-----------|
| 12月12日(日) | 昔あそび工作教室
指導 市民学芸員 | 参加者: 230人 |
| 12月23日(木) | 昔あそび工作教室
指導 市民学芸員 | 参加者: 310人 |
| 12月23日(木) | 展示解説
解説 当館学芸員 | 参加者: 7人 |
| 1月16日(日) | 昔あそび工作教室
指導 市民学芸員 | 参加者: 270人 |
| 1月23日(日) | 展示解説
解説 当館学芸員 | 参加者: 23人 |
| 1月30日(日) | 昔あそび工作教室
指導 市民学芸員 | 参加者: 290人 |
| 2月12日(土) | 展示解説
解説 当館学芸員 | 参加者: 12人 |
| 2月13日(日) | 昔あそび工作教室
指導 市民学芸員 | 参加者: 320人 |
| 2月27日(日) | 記念講演会「高度経済成長期の子ども文 | 参加者: 9人 |

化～ろくむし遊びの記憶から～」

講師 清水 周氏（国立市教育委員会生涯学習課学芸員）

（7）春季企画展「相模原市遺跡発掘調査成果展」

ア 内 容 過去およそ10年間の市内遺跡に関する様々な調査成果に加え、直近に行われた発掘調査の成果を速報的に提示し、考古学による歴史解明のための新たな視点を模索する。発掘調査成果を市民に還元することにより、埋蔵文化財保護や発掘調査に対する市民の理解と協力を促進することを目的とした。

イ 期 間 3月20日（日）～5月8日（日）

ウ 共 催 文化財保護課

エ 協 力 (財)神奈川県公園協会

オ 観覧料 無料

カ 観覧者 1,708人（3月20日～31日、10日間のみ）

キ 関連事業 参加者総数 14人

3月27日（日） 縄文体験教室第1回「弓矢づくり」 参加者： 14人

講師 御堂島 正氏、伊丹 徹氏（神奈川県教育委員会文化遺産課）

（以下23年度 予定）

4月 3日（日） 展示解説

4月10日（日） 縄文体験教室第2回「土器づくり」

4月16日（土） 一日考古学体験

4月17日（日） 考古の日「さがみはら遺跡リレートーク」

4月24日（日） 展示解説

5月 1日（日） 縄文体験教室第3回「火おこし・土器焼き・弓矢体験」

5月 8日（日） 展示解説

3 講座・講演会・教室・観望会等の事業

（1）博物館の日

ア 内 容 毎月第4日曜日を博物館の日として各分野の体験や講演会を実施した。

イ 実施日 4月25日（日）～2月27日（日）全11回

ウ 参加者総数：延べ 1,122人

エ 内容・参加者・講師

4月25日 第1回民俗講演会「歩く、聞く、見る、展示する～「市民と歩いた横浜への道」展の開催から～」 参加者： 69人

講 師 当館学芸員

5月23日 第2回地質の日「火山灰を顕微鏡で見てみよう」 参加者： 127人

講 師 当館学芸員、相模原地質研究会会員

6月27日 第3回植物の日「葉っぱ工作ワークショップ」 参加者： 140人

講 師 当館学芸員、相模原植物調査会会員

7月25日 第4回考古の日「ふれてみよう原始古代の生活」 参加者： 117人

講 師 当館学芸員

8月22日 第5回天文の日「昼間の星 見ちゃおう」 参加者： 122人

講 師 当館学芸員

9月26日 第6回民俗講演会「相模原の年中行事」 参加者： 60人

講 師 入江英弥氏（國學院大學兼任講師・相模原市史民俗編調査員）

＊民俗講座「市史民俗編を読む（展開編）」の公開講座

10月24日 第7回地質の日「いろいろな砂を顕微鏡で見
みよう」 参加者： 92人

講 師 当館学芸員、相模原地質研究会

11月28日 第8回生物の日「くう・ねる・のぐそー糞土師
が語る菌類の魅力と生態系」 参加者： 115人

講 師 伊沢正名氏（糞土師・写真家）

12月26日 第9回天文の日「昼間の星 見ちゃおう」 参加者： 108人

講 師 当館学芸員

1月23日 第10回民俗講演会「相模原の小栗・照手伝説」 参加者： 163人

講 師 糸 智子氏（日本民俗学会会員・相模原市史民俗編調査員）

＊民俗講座「市史民俗編を読む（展開編）」の公開講座

2月27日 第11回歴史の日「高度経済成長期子ども文
化～ろくむし遊びの記憶から～」 参加者： 9人

講 師 清水 周氏（国立市教育委員会生涯学習課学芸員）

3月27日に考古の日「さがみはら遺跡リレートーク」前編を予定していたが、東
日本大震災の状況を考慮し、4月17日に延期した。

（2）地質学講座「丹沢衝突-石老山と陣馬山周辺の地質-」

ア 内 容 石老山礫岩は、丹沢が本州に衝突する直前に本州との間に存在した浅い
海溝を埋めた堆積物が元になっており、丹沢の衝突過程を推定する上で
重要な鍵を握る地層である。海溝を埋めて堆積した石老山礫岩と丹沢に
衝突された側で見られる地層（小仏層群）の特徴と重要性を解説し理解
を深めた。

イ 実施日 5月9日（日）～6月13日（日） 全4回

ウ 参加者 延べ 79人

エ 講 師 河尻清和（当館学芸員）

（3）博物館講演会「森に生きる植物たちの知恵」

ア 内 容 （財）相模原市みどりの協会（第14回森林ボランティア養成講座）と
の共同開催とし、森の中の植物たちの繁殖戦略を豊富な写真や資料で紹
介した。

イ 実施日 7月3日（土）

ウ 参加者 108人

エ 講 師 多田多恵子氏（理学博士・専門：植物生態学）

（4）夏休み子ども学習相談

ア 内 容 小中学生を対象に夏の自由研究などのアドバイスをした。

イ 実施日 7月21日（水）～8月31日（火）

ウ 参加者 延べ 64人（44件）

エ 講 師 当館指導主事、学芸員、学習指導員

（5）小中学生のための生物学教室

ア 内 容 学校の授業よりも一段階レベルの高い本格的な生物学の実習を体験させ
ることにより、科学への視野を広げることを目的とした。

イ 実施日 7月28日（水）～8月11日（水） 全3回

ウ 参加者 延べ70人

エ 講 師 当館学芸員、神奈川県野生生物研究会員

(6) JAXA特別公開関連事業

- ア 内 容 JAXA相模原キャンパス特別公開日に、「はやぶさ」カプセルの特別展示に併せ、宇宙科学セミナー、ミニミニ宇宙学校の開催と、全天周映画 HAYABUSA BACK TO THE EARTH を上映した。
- イ 実施日 7月30日(金)、31日(土)
- ウ 参加者 延べ 2,977人
- エ 対 応 JAXA職員、当館職員、市民学芸員

(7) 子ども鉱物教室「鉱物のふしぎ」

- ア 内 容 実験や観察を通して結晶成長や結晶形、硬度など、鉱物についての初歩を学習し、鉱物への興味を深めた。
- イ 実施日 7月30日(金)、8月6日(金)全2回
- ウ 参加者 延べ 61人
- エ 講 師 河尻清和(当館学芸員)、相模原地質研究会

(8) 民俗講座「市史民俗編を読む」(入門編)

- ア 内 容 市史民俗編に記載されている内容を基に旧市域の民俗の地域的な特徴を捉えるとともに、市史の活用方法についても触れた。
- イ 実施日 8月7日(土)～9月18日(土)全4回
- ウ 参加者 延べ 182人
- エ 講 師 加藤隆志(当館学芸員)

(9) 大日野原遺跡発掘調査現地見学会

- ア 内 容 平成20年度から中央大学と共同で緑区沢井大日野原遺跡の学術発掘調査を実施している。今年度の発掘調査期間(8月1～15日)にあわせ、広く市民に調査成果を公表するため、発掘調査の現地説明会を実施した。
- イ 実施日 8月8日(日)
- ウ 参加者 50人
- エ 講 師 小林謙一氏(中央大学准教授)、現地調査員、当館学芸員

(10) 子どものためのワークショップ「動物アニメを作ろう」

- ア 内 容 初歩的なアニメーション製作の技法を用いて動物の動きを表現し、自然への理解とその表現技法を学ぶ。
- イ 実施日 8月20日(金)・25日(水) 全2回
- ウ 参加者 50人
- エ 講 師 女子美術大学メディアアート学科の学生、当館学芸員

(11) 博物館クイズラリー

- ア 内 容 自然・歴史及び天文常設展示室の内容を問題に設定し、クイズラリー形式で、小学生を中心とした来館者に展示内容を知らせる機会とした。
- イ 実施日 8月22日(日)、2月27日(日) 全2回
- ウ 参加者 延べ 538人
- エ 案 内 当館学芸員、市民学芸員

(12) 植物学講座「身近な植物の調べ方」

- ア 内 容 植物の観察や標本作製技術を学びながら、身近な自然への関心を高め、

生物多様性の理解を深めることを目的とした。

- イ 実施日 9月25日(土)～10月30日(土) 全5回
- ウ 参加者 延べ 68人
- エ 講師 豊田路子氏(植物画家)、当館学芸員、相模原植物調査会会員

(13) 考古学講座「相模川沿いの遺跡を歩く」

- ア 内容 史跡勝坂遺跡公園や川尻遺跡、三ヶ木遺跡などを訪ね、相模川沿いに連綿と続いていた先人の暮らしを再確認するとともに、相模川流域に分布する遺跡の地域色を学ぶ。
- イ 実施日 10月2日(土)～11月14日(日) 全5回
- ウ 参加者 延べ 116人
- エ 講師 当館学芸員、文化財保護課職員

(14) 市民学芸員基礎講座

- ア 内容 博物館の展示や普及事業のサポートや企画運営に関わるボランティアの養成をした。
- イ 実施日 10月20日(水)～11月3日(水) 全3回
- ウ 参加者 延べ90人
- エ 講師 当館職員

(15) 「宇宙の日」作文絵画コンテスト

- ア 内容 自然科学への関心を高める機会として、青少年を対象に、「宇宙を利用して未来の〇〇」をテーマとした絵画や作文を公募・審査した。(文部科学省ほかが主催する「宇宙の日」作文絵画コンテストに参加)また、当館応募作品予備受賞作品を展示、公開した。
- イ 期間 公募：4月9日(金)～7月31日(土)
展示：10月30日(土)～11月28日(日)
- ウ 応募者 作文10人、絵画23人

(16) 民俗講座「市史民俗編を読む」(展開編)

- ア 内容 市史民俗編を読む入門編参加者を元に「市史を読む会」を組織し、展開編として月1回ペースでさらに細かい内容について確認していく。民俗講演会を組み込みながら実施。
- イ 実施日 9月26日(日)～3月27日(日) 全7回
- ウ 参加者 延べ 432人(9月26日・1月23日の公開講座の人数含む)
- エ 講師 加藤隆志(当館学芸員)他

(17) 開館15周年記念事業

博物館開館15周年を記念し、次の事業を実施した。

① プラネタリウムコンサート『宙(そら)からの贈りもの』

- ア 実施日 11月20日(土) 2回講演
- イ 参加者 延べ 294人
- ウ 演奏 神田 将氏(エレクトーン奏者)

② 「みんなでわっしょい宇宙みこし!～宇宙の彼方へさぁ行こう!～」

- ア 実施日 11月21日(日)
- イ 参加者 36人
- ウ 指導 東京造形大学生、当館指導主事、学芸員、学習指導員

③ 「こどもアニメーションフェスティバル」

- ア 実施日 11月21日(日)
- イ 参加者 80人
- ウ 指導 女子美術大学生
- ④パフォーマンス「ライツ・オブ・ディスタンス」
- ア 実施日 11月21日(日)
- イ 参加者 60人
- ウ 演者 武蔵野美術大学生

(18) 星空観望会

- ア 内容 季節に応じた天体観測により天文知識の普及を図った。
- イ 実施日 金曜日(プラネタリウム休止時などを除く)
- ウ 参加者 延べ 1,861人(39回実施)
- エ 対応 当館職員、プラネタリウム解説員

(19) スターウォッチング

- ア 内容 星空を一定の条件下で観察することにより、夜間照明などの環境について目を向けるとともに広く地球規模での環境保全の対策を市民と共に考えた。
- イ 実施日 7月27日(火)、1月28日(金)
- ウ 参加者 57人
- エ 講師 当館天文担当職員、プラネタリウム解説員
- オ 協力 相模原の環境をよくする会(事務局:市環境政策課)

(20) 縄文体験教室「弓矢づくり」

- ア 内容 春季企画展の関連事業として縄文体験教室の1回目を実施(全3回)
- イ 実施日 3月27日(日)
- ウ 参加者 14人
- エ 講師 御堂島 正氏・伊丹 徹氏(神奈川県教育委員会文化遺産課)、当館学芸員

(21) 市史講演会

- ア 内容 相模原市史編さん事業に関連する内容で講演を行った。
- イ 実施日 9月25日(土)
- ウ 参加者総数: 76人
- エ 演題・講師 「敗戦後の相模原再建の道-座間分離から市制施行へ-」
沖川伸夫氏(中央大学法学部兼任講師)

(22) 大日野原遺跡子ども発掘体験事業(藤野中央公民館共催)

- ア 内容 藤野地区の小学生を対象に発掘体験事業を実施した。
- イ 実施日 7月28日(水)~8月27日(金)全5回
- ウ 参加者 延べ43人
- エ 講師 小林謙一氏(中央大学准教授)、当館学芸員

4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 平成22年度観覧者合計 78,991人

(2) 一般投影(プラネタリウム)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約50分)

- イ 番組 「もっと知りたい土星のなぞ～カッシーニが見たリングと衛星～」
〔平成22年3月2日（火）〕～4月29日（木・祝）
「ぼくたち惑星8兄弟」
4月1日（木）～4月4日（日）
「宇宙どこまであるの？」
4月6日（火）～4月29日（木・祝）
プラネタリウム子どもウィーク
星空生解説＋ダーツでめぐるうちゅうのたび
星空生解説＋ピーターパンのぼうけん
星空生解説＋ぼくたち惑星8兄弟
星空生解説＋宇宙をひろげた人たち
5月1日（土）～5月5日（水）
「おかえりなさい はやぶさ」
5月7日（金）～7月29日（木）
「相模原から金星へ 金星探査機あかつきの挑戦」
8月1日（日）～9月30日（木）
「秋の夜長のほうき星」
10月1日（金）～11月30日（火）
「The eclipse of Moon ～皆既月食12・21～」
12月1日（水）～12月26日（日）
「南十字星とさかさまオリオン」
平成23年1月4日（火）～3月31日（木）

- ウ 開始時間 平日…午後3時30分
土・日・祝日・特別上映期間…午後1時30分と午後3時30分
エ 観覧者 22,457人

（3）全天周映画

- ア 内容 大型映像の全天周映画作品を上映（所要約50分）
イ 番組 「銀河鉄道の夜」
〔平成21年7月11日（土）〕～通年
「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」
〔平成22年1月16日（土）〕～平成23年1月7日（金）
「HAYABUSA BACK TO THE EARTH～帰還バージョン・ディレクターズカット」 平成23年1月8日（土）～
「かいけつゾロリ」（特別上映）
12月23日（木）～平成23年1月10日（月・祝）毎日上映
（特別上映期間）、1月15日（土）～3月21日（月・祝）土・日・祝上映、3月26日（土）～3月31日（木）毎日上映（特別上映期間）

- ウ 開始時間 平日…午後2時30分
土・日・祝日・特別上映期間…午前11時と午後2時30分
エ 観覧者 44,068人

（4）学習投影

- ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
イ 番組 小中学校向け「月の形と動き」

		「星の動き（夏／冬）」
		「空を見上げると（夏／冬）」
		「太陽と惑星」
		「太陽系の仲間たち」
		「月の形と動き」
幼児向け		「うちゅうの七にんきょうだい」
		「ピーターパンのぼうけん」
		「ぼくらのうちゅうりょこう～ダーツでめぐる銀河の旅～」
ウ	投影時間	事前に利用団体と調整し、平日の午前1回、午後1回（最大）投影
エ	観覧者	12, 466人

（5）広 報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・パンフレットを作成

5 その他

（1）情報サービスコーナー

ビデオ作品年間視聴回数	計	280回
DVDライブラリー作品年間視聴回数	計	965回
CD-ROM文庫のソフト年間閲覧回数	計	15回

6 学校と博物館の連携を進める研究会

（1）趣 旨

学校教育の場で児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

（2）委員構成 任期2年（平成22年7月1日～平成24年6月30日）

氏 名	備 考
笠 井 正 元	共和中学校総括教諭 委員長
大神田 由香里	宮上小学校総括教諭 副委員長
田 中 穰 一	田名北小学校教諭
武 田 直 行	中野小学校教諭
長 友 広 成	大沢小学校教諭
有 働 裕美子	共和小学校教諭
小 山 賢	旭中学校教諭
今 井 正 巳	緑が丘中学校教諭

（3）活動状況

回	開催日	おもな内容
1	7月28日（水）	委嘱状交付、博物館の概要及びこれまでの学校と博物館の連携活動の説明、正副委員長選出、各研究会の構想について説明・確認し了承 館内施設見学

2	10月29日(金)	「博物館貸し出しキット」の考え方について はやぶさ関連事業についての説明 大型資料収蔵庫・生活資料収蔵庫等の見学
3	3月3日(木)	「博物館貸し出しキット」の具体的検討、第6期貸し出しキットについての説明、貸し出しキットについての質疑応答、希望する分野についての検討、意見交換

7 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展・学習資料展のポスター・パンフレット等
イ プラネタリウム・全天周映画のポスター・パンフレット等

(2) 有償刊行物一覧(平成23年3月31日現在)

博物館と市役所行政資料コーナー等で販売

売上総計 1,258,750 円

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
----	------	------	------

①博物館

図録・報告書等売上

ア、特別展・企画展図録等

112,850 円

郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	7 11	完売
江南の至宝	¥1,300	8 2	完売
相模原の昆虫－身近にいる小さな仲間たち－	¥350	8 4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	8 11	完売
絵図から地形図へ－近代地形図の誕生と発展－	¥2,550	9 7	完売
太陽系－母なる太陽とその家族を巡る－	¥700	9 11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	10 9	完売
水生昆虫の世界－水の中の小さな虫たち－	¥1,200	11 7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	11 10	完売
花を描き、花を知る－植物画の魅力－	¥1,200	12 7	完売
幕末・維新の相模原－村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち－	¥1,500	12 10	完売
星の測量－角度をはかり、位置をもとめる－	¥700	13 7	7
”道”再発見－道の役割とその移りかわり－	¥1,500	13 10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	14 7	4
水晶ってすばらしい！－その美と実用の魅力－	¥1,000	15 7	3
晃嶺の百花譜	¥1,500	16 7	3
相模原－その開発と変貌－	¥800	16 10	22
地球46億年	¥900	17 7	7
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	18 10	完売

イ、報告書等

研究報告第7集 1999	¥850	10 3	完売
研究報告第8集 2000	¥850	11 3	完売
研究報告第9集 2001	¥900	12 3	完売
研究報告第10集 2002	¥900	13 3	完売

平成22年度相模原市立博物館年報

研究報告第11集 2002	¥850	14	3	完売
研究報告第12集 2003	¥900	15	3	1
研究報告第13集 2004	¥900	16	3	0
研究報告第14集 2005	¥900	17	3	0
研究報告第15集 2006	¥1,050	18	3	1
研究報告第16集 2007	¥1,150	19	3	0
研究報告第17集 2008	¥1,150	20	3	1
研究報告第18集 2009	¥700	21	3	6
資料集 順席（慶応三年）	¥800	10	3	完売
博物館資料調査報告書 古山の生業と伝承	¥600	10	3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	10	3	完売
地図資料目録Ⅰ 相模原市作成の地図	¥1,000	11	3	完売
地図資料目録Ⅱ 一般図・主大図・地形図	¥1,200	12	3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	13	3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	14	3	2
資料目録4 テフラ標本目録	¥850	15	3	2
資料目録5 相模原植物誌Ⅰ	¥600	15	3	1
古淵B遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	17	3	1
博物館所蔵古文書目録	¥900	17	3	2
境川流域民俗調査報告書	¥500	17	3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	20	3	1
さがみはら自然ガイド カエル見つけた！！	¥180	21	5	30
ウ、展示解説書				
常設展示解説書	¥1,000	8	11	54

②市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店共同組合加盟店で委託販売
ア、相模原市史

市史・町史計 1,145,900 円

相模原市史 第1巻 (中世以前通史)	¥2,300	S39.11	7
相模原市史 第2巻 (近世通史)	¥3,400	S42.3	5
相模原市史 第3巻 (近代通史)	¥2,800	S44.2	5
相模原市史 第4巻 (現代通史)	¥3,200	S46.3	7
相模原市史 第5巻 (中世・近世資料集)	¥4,500	S40.11	6
相模原市史 第6巻 (近代資料集)	¥3,200	S43.2	3
相模原市史 第7巻 (別編)	¥1,900	S47.3	3
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H16.11	58
相模原市史 現代資料編	¥3,700	20.3	8
相模原市史 自然編	¥3,400	21.5	64
相模原市史 民俗編	¥2,550	22.3	120
相模原市史 民俗編DVD版	¥1,550	22.3	13
相模原市史 現代通史編	¥2,100	23.3	
相模原市史ノート創刊号	¥350	16.3	7
相模原市史ノート第2号	¥700	17.3	5
相模原市史ノート第3号	¥600	18.3	5
相模原市史ノート第4号	¥600	19.3	5
相模原市史ノート第5号	¥600	20.3	2
相模原市史ノート第6号	¥700	21.3	5
相模原市史ノート第7号	¥700	22.3	13
相模原市史ノート第8号	¥650	23.3	
相模原市史調査報告書1 旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	19.3	1
相模原市史調査報告書2 動植物調査目録	¥2,400	21.3	9
相模原市史調査報告書3 相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体か	¥1,500	21.3	10

平成 22 年度相模原市立博物館年報

らみた過去 8 万年間の気候植生変化			
相模原市史調査報告書 4 相模原市地域の第 4 紀地史研究のための指標 テフラ（火山灰）	¥2,300	21. 3	8
相模原市史調査報告書 5 縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	21. 3	3
相模原市史調査報告書 6 勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	22. 3	7
相模原市史調査報告書 7 当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査 報告書	¥1,200	23. 3	

イ、城山町史

城山町史 1 資料編 考古・古代・中世	¥7,000	4. 3	2
城山町史 2 資料編 近世	¥6,000	2. 3	3
城山町史 3 資料編 近現代	¥7,000	5. 3	1
城山町史 4 資料編 民俗	¥5,150	S63. 3	2
城山町史 5 通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H 7. 3	3
城山町史 6 通史編 近世	¥3,500	9. 3	1
城山町史 7 通史編 近現代	¥3,500	9. 3	1
城山風土記 1 近現代編	¥ 600	3. 3	3
城山風土記 2 近世文書を読むために	¥ 700	6. 3	7
城山風土記 3 九十歳の雑記帳	¥ 600	7. 3	6
城山風土記 4 歴史・民俗編	¥ 600	8. 8	7
城山風土記 5 町の歩みをふりかえる	¥ 600	9. 3	8
城山町史資料所在目録 近世文書	¥3,600	S60. 3	1
城山町史資料所在目録 近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S61. 12	1
城山町史新聞記事目録	¥1,200	S62. 3	1
町史の窓（復刻版）	¥1,100	H18. 3	7

ウ、津久井町史

津久井町史 資料編 近世 1	¥2,000	16. 3	6
津久井町史 資料編 考古・古代・中世	¥2,900	19. 3	8
津久井町史 資料編 近代・現代	¥3,150	21. 2	4
津久井町史 資料編 近世 2	¥3,550	23. 3	
ふるさと津久井 第 1 号	¥1,000	12. 3	完売
ふるさと津久井 第 2 号 特集 山に生きる	¥1,000	13. 3	完売
ふるさと津久井 第 3 号（特別号） 津久井の古地図	¥1,000	14. 3	完売
ふるさと津久井 第 4 号 特集 養蚕と織物(1)	¥1,000	15. 9	完売
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅰ」	¥1,700	16. 3	3
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅱ」	¥1,500	20. 3	3
津久井町史資料目録 公文書 1	¥2,300	22. 3	0
津久井町史資料叢書 1 事務報告 1	¥1,850	22. 3	1
津久井町史資料叢書 2 事務報告 2	¥1,850	22. 3	1

エ、相模湖町史

相模湖町史 歴史編	¥14,000	13. 3	5
相模湖町史 民俗編	¥ 5,600	19. 2	1
相模湖町史 自然編	¥11,550	20. 2	1

オ、藤野町史

藤野町史 資料編上	¥3,000	6. 3	2
藤野町史 資料編下	¥3,000	6. 3	2
藤野町史 通史編	¥4,000	7. 3	3
ふじの町史 研究誌（第 1 号）	¥ 600	2. 11	3
ふじの町史 研究誌（第 2 号）			完売
ふじの町史 研究誌（第 3 号）	¥ 600	5. 3	4

ふじの町史 研究誌（第4号）		6. 2	完売
ふじの町史 研究誌（第5号）	¥ 600	8. 3	2

（3）他の機関等との関連

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌・タウン誌等のメディアなどへ記事・パンフレットなどの情報を提供した。

また、Yahoo JAPAN!、livedoor、@nifty、BIGLOBE各サイトへイベント情報を提供した。

ウ 放送番組ロケ

J-COM、FMさがみなど博物館を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。

8 博物館学芸員実習

学芸員資格習得のための実習として、8月3日～9月16日の内実質8日間に17人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	学校名	人数	分野	学校名	人数
考古	奈良大学	1	生物	麻布大学	1
	立命館大学	1		日本大学	1
	専修大学	1		東京農業大学	1
民俗	学習院大学	1		神奈川大学	1
	明星大学	1	地質	工学院大学大学院	1
	目白大学	1		東京工芸大学	1
	駒澤大学	1		工学院大学	1
			天文	鳴門教育大学	1
				工学院大学	1
				実践女子大学	1

9 学習利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習、職業体験等）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数
4月	8	357	8月	2	125	12月	10	1,891
5月	9	678	9月	4	262	1月	10	1,202
6月	24	1,864	10月	16	1,487	2月	17	2,060
7月	13	962	11月	18	3,783	3月	9	937
						年計	140	15,608

10 博物館職員の講師依頼等

市内各公民館・小中学校等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。(これに類するものも記載) 延べ 49件 60回

	演題等	依頼者	月 日	場 所	担 当
1	津久井の昆虫～変化と変遷を知る～	自然観察指導員 相模原連絡会	4月24日(土)	市立環境情報 センター	守屋博文
2	弥生時代とその遺跡について	相模原市文化財 調査・普及員	5月13日(木) 6月10日(木) 7月8日(木)	博物館	河本雅人
3	エンジョイつくい～つくい 歴史ウォーキング～	市立津久井中央 公民館	5月16日(日)	串川ひがし地 域センター	井上 泰
4	相模原の今と昔(主に祭 礼行事)	市立大野南公民 館	5月20日(木)	大野南公民館	加藤隆志
5	蚕という生き物について	市立大野台小学 校	5月21日(金) 7月8日(木) 10月26日(火)	大野台小学校	秋山幸也
6	探検! 川の生き物	市立津久井中央 公民館	5月23日(日)	鳥屋・水沢川	守屋博文
7	理科学習 中庭に生育し ている植物を使った学習	市立弥栄小学校	6月9日(木)	弥栄小学校中 庭	秋山幸也
8	ビオトープに関する学習	相模女子大学	6月10日(金)	相模女子大学	秋山幸也
9	夏の星空観察会	市立二本松小学 校	7月13日(火)	二本松小学校	上原徹也
10	夏の星空観察会	市立津久井中央 小学校	7月14日(水)	津久井中央小 学校	上原徹也
11	夏の星空観察会	市立沢井公民館	7月16日(金)	沢井公民館	上原徹也 有本雅之
12	夏の星空観察会	市立上鶴間小学 校	7月23日(金)	上鶴間小学校	上原徹也
13	虫は友だち! 昆虫たん けん隊	市立津久井中央 公民館	7月24日(土) 7月31日(土) 8月21日(土)	津久井湖城山 公園・津久井 中央公民館	守屋博文
14	相模原市の地学教材研 修講座	麻布大学	7月27日(火)	博物館	河尻清和
15	星空観察とコンサートの 夕べ	市立青根中学校	7月31日(土)	青根中学校・ 地域センター	杉本芳秋
16	環境フィールドワーク	県立相模原青陵 高等学校	8月10日(火)	博物館	河尻清和
17	星のおはなしと観望会	市立図書館	8月19日(木)	市立図書館	有本雅之
18	夏の星空観察会	市立横山公民館	8月24日(火)	横山公民館	上原徹也
19	はやぶさ教室	市小学校長会	8月25日(水)	博物館	上原徹也
20	環境講座	市立田名公民館	9月1日(水)	田名公民館	秋山幸也

平成22年度相模原市立博物館年報

21	縄文への誘い・勝坂遺跡群まるごと探訪	文化財保護課	9月18日(土)	下溝駅～勝坂周辺	土井永好
22	大和市トコロジスト養成講座	(財)日本野鳥の会 人材育成プロジェクト	9月23日(木)	大和市自然観察センター	秋山幸也
23	第4学年総合的な学習(生き物地図)	市立緑台小学校	10月1日(金)	緑台小学校	秋山幸也
24	相模原南地区周辺の歴史	市立上鶴間公民館	10月7日(木)	上鶴間公民館	土井永好
25	野外研修会「自然観察指導法」	神奈川県高等学校教科研究会	10月13日(水)	光明学園相模原高校周辺	秋山幸也
26	「絹の道」について	市立東林公民館	10月14日(木)	東林公民館	加藤隆志
27	中庭に生育している植物を使った体験学習	市立弥栄小学校	10月15日(金)	弥栄小学校中庭	秋山幸也
28	PTA親子講習会	市立大沼小学校PTA	10月16日(土)	大沼小学校	上原徹也
29	大野北の史跡を知る講座	市立大野北公民館	10月20日(水) 10月27日(水) 11月2日(火)	博物館・大野北公民館	土井永好
30	成人学級「はやぶさ」	上鶴間公民館	10月27日(水)	博物館	上原徹也
31	「昭和の歴史」(星が丘すずかけ学級)	市立星が丘公民館	10月28日(木)	星が丘公民館	土井永好
32	南関東の四万十帯ー小仏層群と相模湖層群	県立生命の星・地球博物館	10月30日(土)	生命の星・地球博物館	河尻清和
33	県立生命の星・地球博物館友の会巡検	県立生命の星・地球博物館友の会	11月13日(土)	緑区佐野川・小湊	河尻清和
34	スターウォッチング	市立津久井中央公民館	11月13日(土)	青根中・青根地域センター	有本雅之
35	星空観望会	市立もえぎ台小学校(第4学年)	11月17日(火)	市立もえぎ台小学校	上原徹也
36	展示見学・昼の天体観測	市立富士見台小PTA	12月1日(水)	市立富士見台小	上原徹也
37	河原のレキの調べ方	都立日野高等学校	12月3日(金) 1月9日(日)	都立日野高校・博物館	河尻清和
38	民俗分布に見る境川流域	さがみはら地名の会	12月7日(火)	博物館	加藤隆志
39	勝坂を学ぼう「勝坂の養蚕と信仰」	文化財保護課	12月12日(日)	史跡勝坂遺跡公園管理棟他	加藤隆志
40	県博解説員自主研修	県立歴史博物館 解説ボランティア13期生	12月18日(土)	勝坂遺跡公園・博物館	土井永好
41	「冬の里山は星空がいっぱい」(冬の星空観察会)	市立城山公民館	23年1月8日(土)	コミュニティ広場(本沢梅園)	上原徹也
42	市立小学校社会科部会研修会	市立小学校教育研究会社会科部会	1月12日(水)	ふれあい科学館・烏山用水・旧石器学習館	土井永好
43	勝坂を学ぼう「勝坂遺跡	文化財保護課	1月16日(日)	史跡勝坂遺跡	河尻清和

	と大地の成り立ち」			公園管理棟他	
44	地域を知る歴史講座「相模原の開拓と絹の道」	市立大野北公民館	1 月 18 日(水)	大野北公民館	加藤隆志
45	出張観望会	市立東林公民館	2 月 5 日(土)	東林公民館	有本雅之
46	出張観望会	市立星が丘公民館	2 月 6 日(日)	星が丘公民館	上原徹也
47	出張観望会	市立横山公民館	2 月 9 日(水)	横山公民館	有本雅之
48	「みつけよう！緑のライフスタイル」	(財)日本野鳥の会 人材育成プロジェクト	2 月 12 日(土)	横浜市港北公会堂	秋山幸也
49	植物工作教室「シュロとクマザサの葉っぱ遊び」	文化財保護課	2 月 26 日(土)	史跡勝坂遺跡 公園管理棟	秋山幸也

1 1 市民との協働

(1) 市民学芸員

ア 内 容 博物館活動に市民が参加する機会として、参加者を募集。前述の同講座により、博物館の基礎的な研修を受講した後、企画展、学習資料展等の展示準備作業と関連事業補助、クイズラリー運営等を実施した。

イ 登録者 52 人

ウ 参加者 延べ 439 人

(2) さがみはら水生動物調査会

ア 内 容 博物館で収蔵する水生動物の資料整理や講師派遣への協力を行った。

イ 登録者 15 人

ウ 参加者 延べ 30 人

(3) 相模原植物調査会

ア 内 容 市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、月 1 回程度の例会を行い、標本を使った植物分類の勉強会を行った。

イ 登録者 41 人

ウ 参加者 延べ 390 人

(4) 相模原地質研究会

ア 内 容 市内および周辺地域の地質調査や資料整理を行った。地質学講座や子ども鉱物教室など地質分野の教育普及活動を学芸員とともにを行った。

イ 登録者 13 人

ウ 参加者 延べ 124 人

(5) 相模原縄文研究会

ア 内 容 市内の縄文時代遺跡の調査と資料整理を行った。また、考古学講座の運営を博物館と協働で行った。

イ 登録者 10 人

ウ 参加者 延べ 160 人

(6) 民俗調査会A (19年度結成)

ア 内 容 「相模原民俗マップを作る」をテーマに、フィールドワークを行いながらマップ作りの準備作業を行った。

イ 登録者 20人 (平成23年3月末現在)

ウ 参加者 延べ 185人 (毎月一回実施しているフィールドワークの参加人数)

(7) 民俗調査会B (19年度結成)

ア 内 容 鎌倉道・甲州道中・八王子道・津久井道などをテーマに、フィールドワークを行った。

イ 登録者 32人 (平成23年3月末現在)

ウ 参加者 延べ 327人 (毎月一回実施しているフィールドワークに参加した人数)

(8) 鈴木重光資料整理 (22年度結成)

ア 内 容 津久井郷土資料館 (当時) に保管されていた鈴木重光氏が寄贈された資料のうち、未整理のものについて目録化などの整理を行った。今後継続して作業を行い、収蔵展示なども行う予定である。

イ 登録者 14人 (平成23年3月末現在)

ウ 参加者 延べ 44人 (月2回程度実施している作業に参加した人数)

Ⅲ 資料管理

1 博物館収蔵資料点数 (平成23年3月31日現在)

博物館収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考古	考古資料	考古資料収蔵庫等	5,683	箱	5,683
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	5,631	点	41,034
	歴史資料	生活資料収蔵庫	828	点	
	歴史資料	特別収蔵庫	9,408	点	
	古文書等市史資料	古文書収蔵庫	3,315	点	
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,740	点	
	購入資料	特別収蔵庫	112	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫・	21,159	点	28,598
	軍事資料	大型資料収蔵庫	1,562	点	
	地図・写真資料	図面保管庫	5,877	点	
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	189	点	3,484
	岩石・薄片資料	地質資料収蔵庫等	1,106	点	
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	1,339	点	
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	525	点	
	文献	地質資料収蔵庫等	2	点	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点	34,481
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	34,235	点	
	小動物等	液浸標本収蔵庫	140	点	

平成 22 年度相模原市立博物館年報

	鳥類	動植物資料収蔵庫	61	点	
	哺乳類	動植物資料収蔵庫	5	点	
植 物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	44,519	点	44,525
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点	
天 文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,108	点	2,121
	購入資料	天文展示室	13	点	
二次資料	図書	市民研究室等	39,383	点	43,307
	ビデオ・CD-ROM, DVD ソフト	情報サービスコーナー	428	点	
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,496	点	
合 計			203,233	点	

館内収蔵美術品資料点数リスト

館内収蔵美術品（文化国際課扱）

分 野	分 類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美 術 品	絵画	美術品収蔵庫	394	点	2,700
	書	美術品収蔵庫	55	点	
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点	
	写真	フィルム収蔵庫	2,249	点	

館内収蔵市史資料

分 野	分 類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
市史資料	行政資料	古文書収蔵庫	600	点	600

博物館関連施設収蔵資料点数リスト

分 野	分 類	施設名	収蔵点数	単位	分野計
考 古	考古資料	相模湖資料収蔵庫	219	箱	1,177
		津久井郷土資料室	354	箱	
		小原本陣・小原の郷	0	箱	
		城山郷土資料保管庫	444	箱	
		吉野宿ふじや	160	箱	
歴 史	歴史資料	津久井郷土資料室	688	点	5,522
		尾崎罌堂記念館	3,816	点	
		小原本陣・小原の郷	254	点	
		城山郷土資料保管庫	95	箱	
		吉野宿ふじや	669	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	津久井郷土資料室	14,503	点	17,217
		小原本陣・小原の郷	397	点	
		城山郷土資料保管庫	847	点	
		吉野宿ふじや	1,470	点	
動 物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点	115
合 計			24,031	点	

2 資料・収集整理

分野	内 容
考古	埋蔵文化財再整理（国庫補助事業）
歴史	寄贈・寄託（予定含む）古文書類、尾崎罌堂関係資料などの整理
民俗	市域の民俗資料の収集及び収蔵番号の整備などの諸整理
近現代	市域の近現代及び地理資料、特に生活資料及び軍事資料の収集・整理
動物	収集した動物資料の標本化及び種名の同定などの博物館資料として利用可能とする作業 適正な保管を目的とした点検及び同定ラベル補充などの整理作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、政木淑人コレクション植物標本の整理
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理 寄贈資料（火山灰、故貝塚爽平氏研究資料）の整理・データベース化
天文	天文現象・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館より送付された刊行物の整理

3 購入資料

区 分	内 容
学術雑誌	考古学ジャーナル、月刊むし、天文月報等の専門雑誌 22 種 （市民研究室、天文研究室で開架）
新刊書籍	市民研究室、天文研究室、情報サービスコーナーへの配架用として 10 冊。

4 有害生物管理の実施

（1）受入れ資料のくん蒸

年 3 回、受入れ資料を対象に洗浄乾燥室においてガス薬剤（アルプ）を用いた定期的な被覆くん蒸を実施した。

（2）有害生物調査

7 月～10 月、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

5 資料の特別利用

利用総件数 67 件（平成 22 年度中に利用申請されたもの）

資料	区分	利用期間	申請者	目的
----	----	------	-----	----

平成22年度相模原市立博物館年報

渋谷勇磁氏・荒井一雄氏寄託資料	館外貸出し	4月6日	座間市教育委員会	刊行物掲載
昭和31年航空写真 他	複写	5月19日	個人	調査研究
大正10年地形図 (1/25000・藤沢・大磯他)	複写	5月21日	個人	調査研究
明治15年迅速測図(上溝村)	閲覧	6月1日	個人	調査研究
当麻・亀ノ甲西原遺跡写真 他	館外貸出し	6月2日 ～6月30日	市教委文化財保護課	パネル展示
旧上溝町役場資料	閲覧・複写	6月3日	本町自治会	調査研究
旧新磯村役場資料 他	閲覧・撮影	6月13日	相武台のナベトロ遺跡をたどる会	資料調査
上中丸遺跡・田名花ヶ谷戸遺跡出土土器	撮影	6月15日	個人	研究発表
昭和44年航空写真 他	閲覧・複写	6月16日	市開発調整課	行政事務
旧上溝町役場資料	閲覧・複写	6月23日	本町自治会	調査研究
石川寿美恵氏寄贈資料 他	閲覧・複写	6月23日	相武台のナベトロ遺跡をたどる会	資料調査
大日野原遺跡出土土器 他	館外貸出し	6月25日 ～6月30日	藤野中央公民館	体験事業
鈴木健司氏寄託資料	閲覧・複写	6月29日	長津田ふるさと会	調査研究
相模湖層群瀬戸層 頁岩 他	館外貸出し	7月2日 ～11月21日	神奈川県立生命の星・地球博物館	展示資料
昭和48年・55年航空写真	館外貸出し	7月21日 ～8月4日	東和開発(株)	社史編さん
大正10年地形図 (1/25000 原町田 他)	閲覧・複写	7月21日	個人	課題研究
縄文土器	館外貸出し	7月22日 ～8月31日	神奈川県立相模原総合高校	授業教材
昭和44～48年航空写真 他	閲覧・複写	7月22日	市管財課	行政事務
段丘崖のジオラマ展示 他	閲覧・撮影	7月25日	個人	調査研究
勝坂式土器展示ケース 他	撮影	7月28日	個人	課題研究
大正10年地形図 (1/25000 原町田)	閲覧・複写	7月28日	個人	課題研究
昭和39年航空写真	閲覧・複写	8月15日	個人	課題研究
昭和44年地形図 (1/25000 原町田)	閲覧・複写	8月19日	個人	課題研究
唐箕	館外貸出し	9月15日 ～11月30日	市農政課	講座資料
学習資料展作成パネル (疎開先からの手紙)	館外貸出し	9月15日 ～10月15日	市立夢の丘小学校	授業教材
昭和2年地形図(1/25000 原町田) 他	閲覧・撮影	9月18日	個人	調査研究

平成 22 年度相模原市立博物館年報

昭和 11 年撮影空中写真 他	閲覧・撮影	9 月 18 日	個人	調査研究
勝坂遺跡第 1 次調査写真フィルム	館外貸出し	10 月 7 日 ～11 月 2 日	市文化財保護課	展示資料
大鋙（70-1-30）	館外貸出し	10 月 9 日 ～10 月 29 日	市立向陽小学校	授業教材
地形図（1/25000 与瀬）	閲覧・複写	10 月 11 日	市立内郷中学校	授業教材
中里博氏寄贈資料 他	閲覧・複写	10 月 13 日	個人	調査研究
兵器学校資料	閲覧	10 月 15 日	個人	調査研究
塩田遺跡出土縄文土器 他	館外貸出し	10 月 17 日 ～10 月 19 日	女子美術大学	授業教材
鈴木健司氏寄託資料	閲覧・複写	10 月 19 日	個人	調査研究
笹野邦一氏所蔵資料	閲覧・複写	10 月 23 日	個人	調査研究
福田弘夫氏寄託資料 他	閲覧	10 月 23 日	個人	調査研究
中里伝寿氏寄託資料 他	閲覧・複写	10 月 26 日	個人	調査研究
相模原市構想鳥瞰図	その他	10 月 27 日	個人	刊行物掲載
勝坂南方遺跡出土の勝坂式土器	館外貸出し	10 月 28 日 ～11 月 8 日	市文化財保護課	展示資料
剥製標本（ニホンカモシカ）	館外貸出し	10 月 28 日 ～11 月 2 日	麻布大学環境保健学部	展示資料
龍像寺所蔵資料	閲覧	10 月 29 日	個人	調査研究
鈴木健司氏寄託資料	閲覧・複写	10 月 29 日	個人	調査研究
明治 39 年地形図（1/50000 八王子） 他	閲覧・複写	10 月 31 日	個人	調査研究
旧上溝町役場資料	閲覧・複写	11 月 5 日	本町自治会	調査研究
旧新磯村役場資料	閲覧・複写	11 月 10 日	相武台のナベトロ遺跡をたどる会	調査研究
旧相原村役場資料	閲覧・複写	11 月 12 日 ～11 月 16 日	個人	調査研究
谷原古墳出土遺物	閲覧	11 月 13 日	かながわ考古学財団	調査研究
昭和 55 年航空写真 他	閲覧	11 月 20 日	個人	調査研究
石川寿美恵氏寄贈資料	閲覧・複写	11 月 21 日	個人	課題研究
地形図（1/25000 原町田）	閲覧・複写	11 月 23 日	個人	調査研究
浮世絵「豊年万作之図」カラーポジフィルム	その他（貸出）	11 月 23 日 ～2 月 15 日	安城市歴史博物館	刊行物掲載
地形図（1/25000 八王子） 他	閲覧・複写	11 月 27 日	市立二本松小学校	授業教材
「田名向原遺跡出土の建物跡」写真	館外貸出し	11 月 30 日 ～1 月 31 日	鳥取県埋蔵文化財センター	刊行物掲載
地形図（1/25000 原町田）	閲覧・複写	12 月 8 日	個人	調査研究

平成 22 年度相模原市立博物館年報

田名向原遺跡住居状遺構写真	その他（転載）	12 月 15 日 ～2 月 15 日	(株)新泉社	刊行物掲載
笹野ハル氏寄託資料 他	閲覧・複写	1 月 6 日	御用留を読む会	学習会資料
福田弘夫氏寄託資料 他	閲覧・複写	1 月 9 日	厚木市文化財保護課	調査研究
昭和 21 年米軍撮影空中写真 他	閲覧・複写	1 月 14 日	市南土木事務所	行政事務
昭和 38 年相模原市都市計画 図 星ヶ丘	閲覧・複写	1 月 16 日	個人	調査研究
天野望氏寄贈資料 (天野貞祐書簡)	閲覧	1 月 23 日	個人	調査研究
津久井城古図	撮影	2 月 9 日	(財)神奈川県公園協会 (津久井湖城山公園)	講座資料
館蔵民俗資料写真	その他	2 月 23 日 ～26 年 3 月 31 日	(財)日本博物館協会	ホームページ上に公開
昭和 15 年陸軍空中写真	閲覧・撮影	2 月 27 日	相武台のナベトロ遺跡 をたどる会	調査研究
旧上溝町役場資料	閲覧・複写	3 月 18 日	本町自治会	調査研究
勝坂遺跡第 1 次調査資料 他	館外貸し	3 月 23 日 ～3 月 31 日	(株)武蔵文化財研究所	図面作成
田名向原遺跡の住居状遺構 写真	その他（掲載）	3 月 30 日	岩宿博物館	刊行物掲載
金子光江氏寄贈資料 他	閲覧・複写	3 月 30 日	個人	調査研究
相模原土地地区画整理予定図	閲覧・撮影	3 月 30 日	個人	調査研究
小型唐箕	閲覧・撮影	3 月 31 日	個人	実測調査

IV 調査研究

分野及び調査者	内容と成果
考古資料の調査 河本 雅人	大日野原遺跡の発掘調査を実施し、(中央大学との共同調査)縄文時代中期の集落跡の一部を検出した。
民俗資料の調査 加藤 隆志	市内の祭礼・行事の調査し、「津久井地域の自然と文化」の展示などで紹介したほか、ホームページ上の「博物館の窓」の「民俗の窓」において随時掲載した。 「21 世紀の地域博物館像に寄せて」を『神奈川県博物館協会報』第 82 号に執筆した。
近現代資料の調査 土井 永好	旧市域及び津久井地域の生活資料、軍事関連資料等を調査、収集し、一部を学習資料展に反映させた。
植物資料の調査 秋山 幸也	市内の維管束植物などの植物相調査を進め、その中で明らかになった市内に自生する絶滅危惧植物の保全、増殖事業に着手した。
地質資料の調査 河尻 清和	相模原市周辺の秩父帯、四万十帯、南部フォッサマグナ、中津層群を調査した。藤野地域に分布する名倉玄武岩類について日本地質学会第 117 年学術大会において発表した。

	町田氏寄贈の火山灰資料の調査
天文資料の調査 杉本 芳秋 上原 徹也 有本 雅之	ペルセウス座 I U 星の CCD 測光観測を実施した。 プラネタリウム学習投影教材のデジタル化（プロジェクターの活用）

V 展示改修

1 天文常設展示室整備事業

(1) 方針

「相模原市立博物館常設展示リニューアル基本計画」に基づき、財源確保の見通しにより、事業実施することとなり、(財)日本宝くじ協会へ助成申請を行った。

平成 22 年 4 月に助成が決定したことから、天文常設展示室のリニューアルを先行して行うこととした。

(2) 整備事業進行状況

5 月	展示工事積算表作成
6 月	補正予算案作成
9 月	補正予算審議・確定
10 月	実施設計委託
12 月	工事業決定
12/24～3/25	展示整備工事
1/4～4/15	天文展示室一時閉鎖
4/16	天文展示室リニューアルオープン

VI 市史・町史編さん

1 相模原市史

(1) 市史編さん審議会

ア 趣旨 市史編さんに関する重要な事項について、市長の諮問に応じて調査・審議する附属機関、委員 10 人。事務統合のため平成 22 年度から津久井町史についても取り扱うこととした。

イ 委員構成（任期 2 年）

平成 21 年 7 月 31 日～平成 23 年 7 月 30 日（*平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

氏 名	備 考	選出区分
岩 橋 清 美	東京都公文書館職員	学識経験者
金 子 信 男	公募委員	公募委員
高 橋 順 一	桜美林大学教授 副会長	学識経験者
中 村 洋 子	大野南公民館長	学識経験者
樋 口 雄 一	元神奈川県公文書館郷土資料課長	学識経験者
藤 川 まなみ	桜美林大学准教授	学識経験者
保屋野 洪 子	公募委員	公募委員
山 下 義 幸	元明治大学教授 会長	学識経験者
大 塚 喜 一	元津久井町教育委員会教育委員長（*）	学識経験者
奈 良 雅 之	元相模湖町立北相中学校長（*）	学識経験者

ウ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8 月 26 日 (木)	(1) 平成 22 年度市史・町史編さん事業及び今後の予定、(2) 市史考古編について、(3) 平成 23 年度町史刊行物について
2	3 月 24 日 (木)	(1) 平成 22 年度市史・町史編さん事業の実施状況について、(2) 津久井町史編さん基本方針の改訂について、(3) 市史現代通史編について、(4) 町史資料編近世 2 について

(2) 市史編集委員会

ア 趣旨及び委員構成

市史の編集方針及び執筆内容を検討する委員会。任期 2 年、委員 10 人、年 2 回開催

イ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8 月 5 日 (木)	(1) 平成 22 年度市史編さん事業実施状況及び今後の予定、(2) 考古編について

(3) 各専門部会の活動状況

① 近現代部会

ア 部会の開催（現代通史編の構成の検討）

5 回（4 月 24 日、7 月 3 日、8 月 7 日、9 月 11 日、11 月 20 日）

イ 編集委員会（現代通史編の編集打合せ）

8 回（10 月 8 日、10 月 23 日、12 月 18 日、12 月 26 日、1 月 16 日、2 月 12 日、3 月 5 日、3 月 18 日）

ウ 『現代通史編』の刊行 A5 判、879 ページ、1500 部

エ 聞き取り調査 3 回（5 月 15 日、5 月 22 日、6 月 19 日）

② 考古部会

ア 部会の開催（考古編構成案の検討）

3 回（7 月 11 日、11 月 21 日、1 月 30 日）

イ 中世石造物調査報告書の作成

『相模原市史調査報告書 7 当麻山無量光寺歴代上人墓所石造塔婆群調査報告書』

③ 文化遺産部会

ア 部会の開催（文化遺産編の構成案について）

3 回（5 月 27 日、9 月 6 日、2 月 26 日）

イ 社寺調査

事前調査 71 社寺終了（20 年 8 月 6 日開始）

予備調査 22 寺終了（20 年 8 月 26 日開始）

ウ 神輿の調査、絵馬（奉納額）調査の実施

(4) 普及事業

ア 『相模原市史ノート』第 8 号の発行

イ 市史講演会の開催

実施日 9 月 25 日（土）参加者総数：76 人

演題・講師 「敗戦後の相模原再建の道-座間分離から市制施行へ-」

沖川伸夫氏（中央大学法学部兼任講師）

ウ 市史刊行物の販売（相模原市史及び旧津久井 4 町の刊行物）

各行政資料コーナー、博物館で販売

相模原市書店協同組合加盟店での販売を実施（平成 20 年 4 月～）

2 津久井町史

(1) 津久井町史懇話会

ア 趣旨及び委員構成

津久井町史編さん基本方針に定められた刊行物の企画等に対する助言及び資料に関する情報提供などを行う組織。任期 2 年、委員 10 名、開催数年 2 回程度。前津久井町史編さん委員会委員を中心に組織。

イ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8 月 17 日 (火)	(1)平成 22 年度町史・市史編さん事業近況、(2)津久井町石仏調査について、(3)地誌編について
2	1 月 25 日 (火)	(1)町史編さん事業近況報告、(2)津久井町史地誌編の基本方針について

(2) 各専門部会の活動状況

① 近世部会

ア 部会の開催 (資料編近世 2 掲載資料の調整、刊行スケジュール検討、校正等)

6 回 (6 月 24 日、7 月 24 日、9 月 18 日、10 月 8 日、11 月 19 日、1 月 29 日)

イ 『資料編近世 2』の刊行 A5 判、808 ページ、800 部

② 自然部会

ア 部会の開催 (自然編追加調査と執筆状況の確認、原稿締め切り確認)

2 回 (7 月 27 日、2 月 1 日)

イ 各種報告書 (平成 23 年度刊行予定) の準備

「津久井町の昆虫Ⅲ」データ集約及び執筆

「津久井町の植物」データ集約及び執筆

(3) 津久井町石仏調査 (緊急雇用創出事業)

ア 内容 旧津久井町内に点在する石仏等の存在を確認し、写真撮影し、大きさ等の計測を行った。

イ 結果 平成 22 年 10 月から調査を実施し、408 箇所 1,325 体の石仏を確認した。

平成 22 年度相模原市立博物館 年報
発行日 平成 23 年 4 月 1 日
相模原市立博物館
住所 〒252-0221 相模原市中央区高根 3-1-15
TEL 042-750-8030
FAX 042-750-8061
e-mail hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp
URL <http://www.remus.dti.ne.jp/~sagami/index.htm>